

ファインテラス F型 前面台形納まり 組立施工マニュアル

■ 販売店、工事店様へのごあい

・テラス本体の組み立て施工マニュアルも合わせてお読みください。

■ 梱包明細書



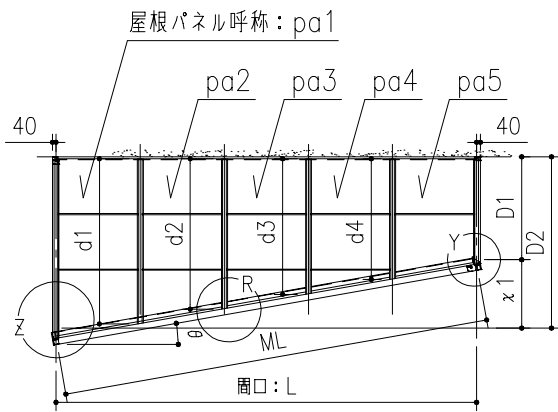
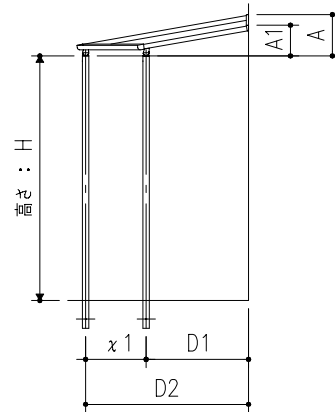
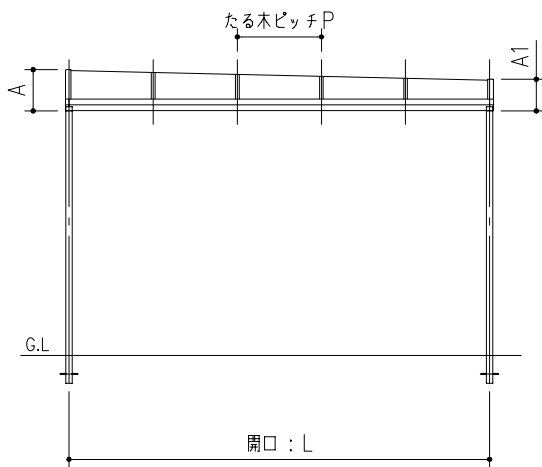
注意

- ・横材は、1サイズ大きい横材を拾い出して下さい。
- ・連棟は出来ません

製品名称	製品記号	梱包明細
台形納まり部品箱	■ JGTTB1	前枠取付ブラケットR/L各 ③ φ5x12トラス3種 ⑥ セルフドリリングネジM5x13 ⑥ φ15孔ふさぎシール ⑮ 組立施工マニュアル ①

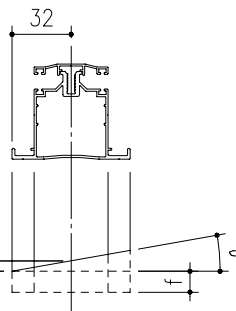
*上記■には色記号が入ります。(S:セピアブラック、H:ホワイト、F:ファイングレー、T:CBブラウン、8:CBステン)

■ 姿図・屋根伏図



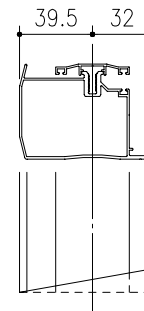
<角度切断詳細図>

・たる木



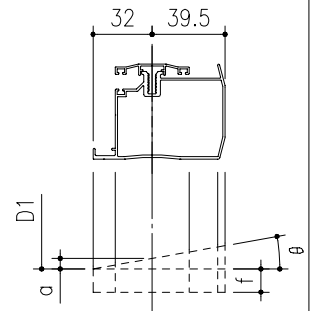
R部詳細図

・側枠(左)



Z部詳細図

・側枠(右)



Y部詳細図

	関東間 1.0間	関東間 1.5間	関東間 2.0間	関東間 2.5間	関西間 1.0間	関西間 1.5間	関西間 2.0間	関西間 2.5間
屋根長さ	1906	2815	3724	4641	2102	3113	4124	5135
屋根巾	3尺: 975, 4尺: 1280, 5尺: 1584, 6尺: 1889, 7尺: 2194, 8尺: 2498, 9尺: 2803, 10尺: 3108							
L	1826	2735	3644	4561	2022	2976	3931	4998
出巾: D	3尺: 865, 4尺: 1165, 5尺: 1465, 6尺: 1765, 7尺: 2065, 8尺: 2365, 9尺: 2665, 10尺: 2965							
H	2600							
A	3尺: 290, 4尺: 343, 5尺: 369, 6尺: 449, 7尺: 618, 8尺: 671, 9尺: 724, 10尺: 777							
P	911				1011			

■ 三角関数表

θ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
$\sin\theta$	0.0175	0.0349	0.0524	0.0697	0.0872	0.1045	0.1219	0.1391	0.1565	0.1736
$\cos\theta$	0.9998	0.9994	0.9986	0.9976	0.9962	0.9945	0.9925	0.9903	0.9877	0.9848
$\tan\theta$	0.0175	0.0349	0.0524	0.0699	0.0875	0.1051	0.1228	0.1405	0.1584	0.1763

◆ 側枠・たる木部材長さ ◆

出巾	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	10尺
L寸法	885	1190	1494.5	1799	2103.5	2408.5	2713	3017.5

■ 加工公式・計算例（前面台形）

関東間 2.0 間 x 6 尺 調整角度 10° 外観右側へ調整する場合

移動桁・前桁長さ

$$ML = \text{間口} : L / \cos\theta$$

$$ML = 3644 \div \cos 10^\circ (0.9848) \\ = \underline{\underline{3700}}$$

横材切詰寸法

$$mL = 1\text{サイズ大きい横材} - ML$$

$$mL = 4561 (\text{関東間} : 2.5 \text{間横材}) - 3700 \\ = \underline{\underline{861}}$$

側枠切詰め長さ

$$x1 = \tan\theta \times \text{間口} : L$$

$$x1 = \tan 10^\circ (0.1763) \times 3644 \\ = \underline{\underline{642.5}}$$

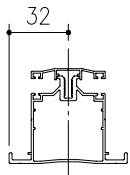
側枠長さ（短い方）

$$E1 = \text{奥行材長さ} - x1 + a - f$$

$$E1 = 1799 - 642.5 + 5.5 - 7 \\ = \underline{\underline{1155}}$$

たる木・短い方の側枠にプラスする長さ

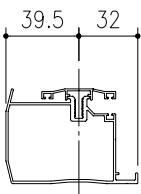
$$a = \tan\theta \times 32$$



$$a = \tan 10^\circ (0.1763) \times 32 \\ = \underline{\underline{5.5}}$$

長い方の側枠切詰め寸法

$$f = \tan\theta \times 39.5$$



$$f = \tan 10^\circ (0.1763) \times 39.5 \\ = \underline{\underline{7}}$$

側枠からの距離（たる木ピッチ）				
	1.0 間 : 1本	1.5 間 : 2本	2.0 間 : 3本	2.5 間 : 4本
関東間	911	1822	2733	3644
関西間	1011	2022	3033	4044

$$dA1 \sim dA4 = \text{奥行材長さ} - (\tan\theta \times \text{側枠からの距離（たる木ピッチ）})$$

$$dA1 = 1799 - (\tan 10^\circ (0.1763) \times 911) \\ = \underline{\underline{1638.4}}$$

$$dA2 = 1799 - (\tan 10^\circ (0.1763) \times 1822) \\ = \underline{\underline{1477.7}}$$

$$dA2 = 1799 - (\tan 10^\circ (0.1763) \times 2733) \\ = \underline{\underline{1317.1}}$$

加工公式・計算例（前面台形）

たる木長さ

$$d1 \sim d4 = (dA1 \sim dA4 - f) + a$$

$$d1 = 1638.4 - 7 + 5.5$$

$$= \underline{\underline{1637}}$$

$$d2 = 1477.7 - 7 + 5.5$$

$$= \underline{\underline{1476}}$$

$$d3 = 1317.1 - 7 + 5.5$$

$$= \underline{\underline{1316}}$$

たる木掛け高さ（低い方）

$$A1 = \tan 10^\circ (\text{屋根勾配}) \times D1 + 130$$

$$A1 = \tan 10^\circ (0.1763) \times 1155 + 130$$

$$= \underline{\underline{334}}$$

屋根パネル 切詰め寸法

$$f = \tan \theta \times 39.5$$

$$g = \text{パネル}W \times \tan \theta$$

$$r = \text{たる木ピッチ}P \times \tan \theta$$

pa1 パネル：h寸法

$$h = \text{パネル}H - f$$

pa1 パネル：短い方の寸法

$$= h - g$$

pa2 ～ パネル：h寸法

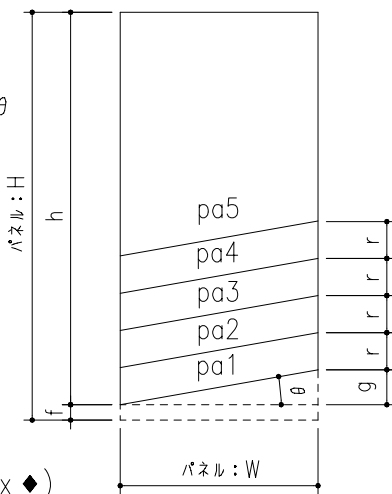
$$h = \text{パネル}H - f - (r \times \blacklozenge)$$

* ◆には、パネルのピッチ数が入ります。

pa2 ～ パネル：短い方の寸法

$$= h - g$$

pa1 ～ pa5 までを重ねた図



$$f = \tan 10^\circ (0.1763) \times 39.5$$

$$= \underline{\underline{7}}$$

$$g = 895 \times \tan 10^\circ (0.1763)$$

$$= \underline{\underline{158}}$$

$$r = 911 \times \tan 10^\circ (0.1763)$$

$$= \underline{\underline{160.5}}$$

pa1 のパネルh寸法

$$= 1844 - 7$$

$$= \underline{\underline{1837}}$$

pa2 のパネルh寸法

$$= 1844 - 7 - (160.5 \times 1)$$

$$= \underline{\underline{1676.5}}$$

パネル右側（短い方）

$$= 1837 - 158$$

$$= \underline{\underline{1679}}$$

パネル右側（短い方）

$$= 1676.5 - 158$$

$$= \underline{\underline{1518.5}}$$


◆ パネル寸法表 ◆

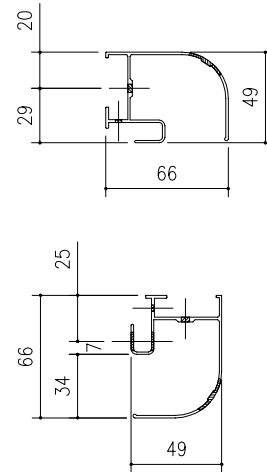
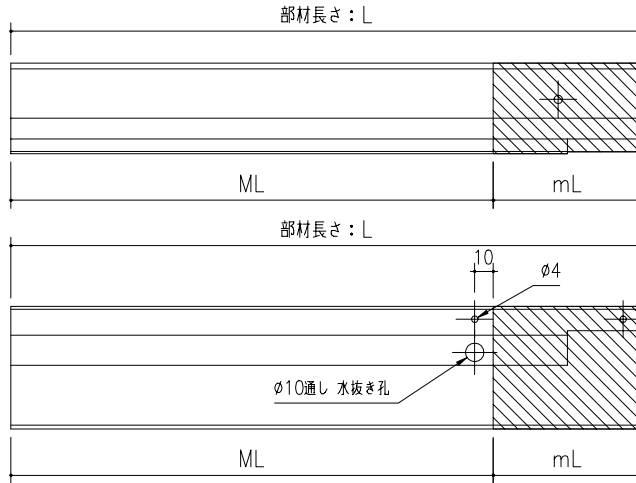
出巾		3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	10尺
		関東周	パネル：H	930	1235	1539	1844	2148	2453
パネル：W	895								
板厚：t	2								
関西周	パネル：H	930	1235	1539	1844	2148	2453	2758	3062
	パネル：W	995							
	板厚：t	2							

加工図（前面台形）

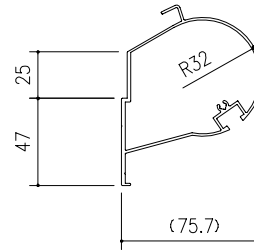
前 枠

注意 本図は全て 外観右側へ調整する場合の加工図です。

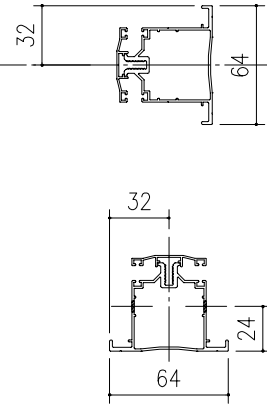
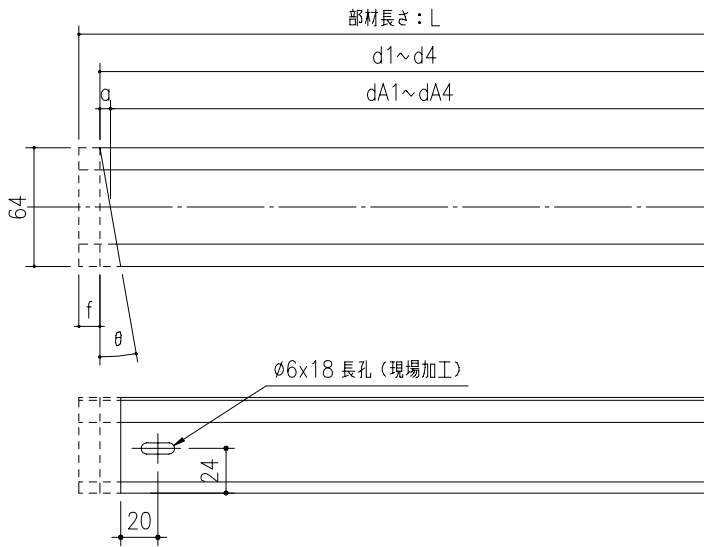
 は、切詰め部分



移動桁



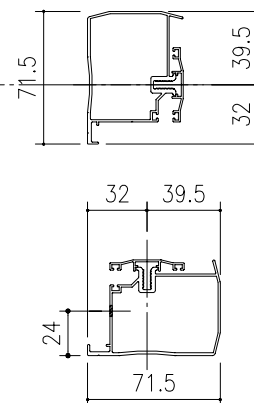
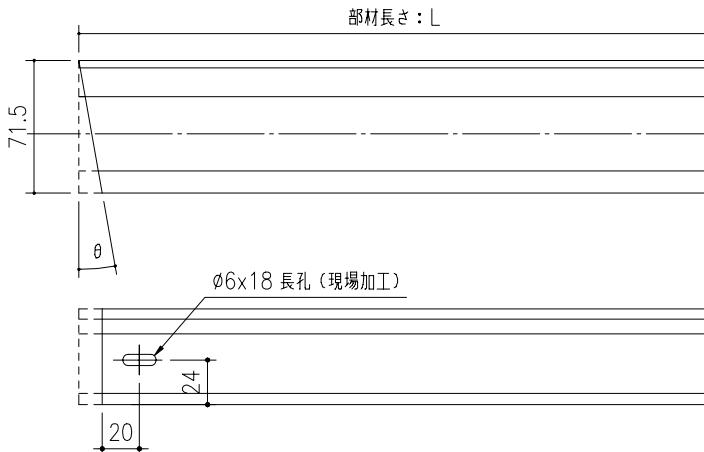
たる木



前枠側

躯体側

側枠（長い方）

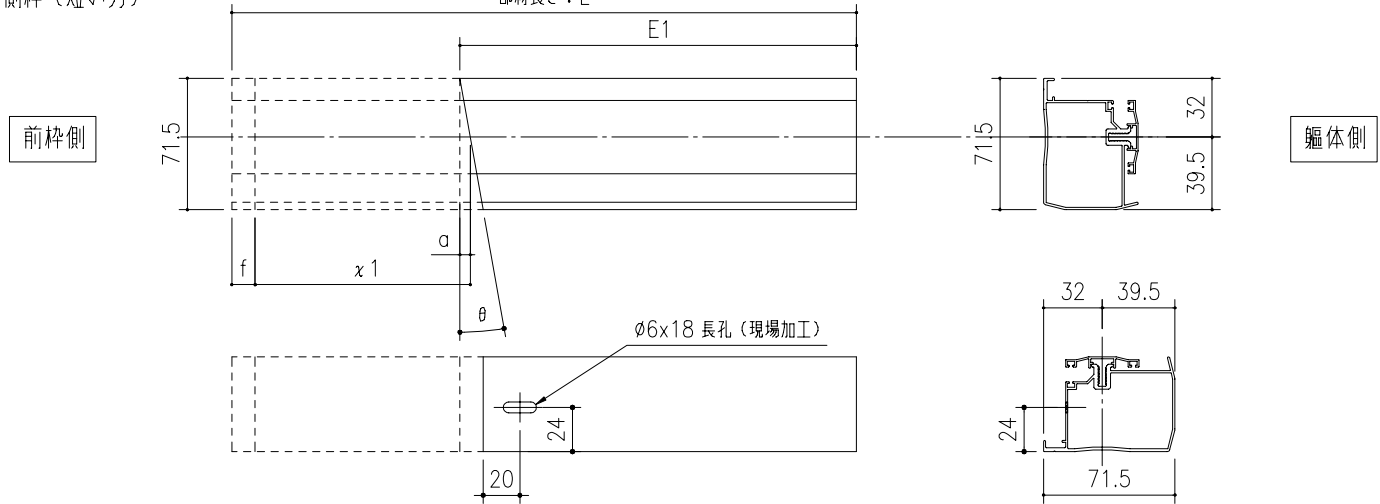


前枠側

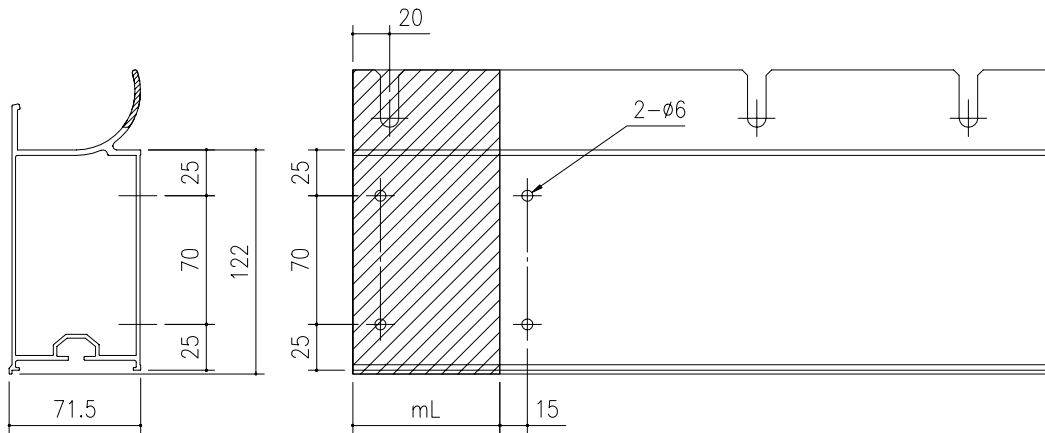
躯体側

加工図（前面台形）

側枠（短い方）



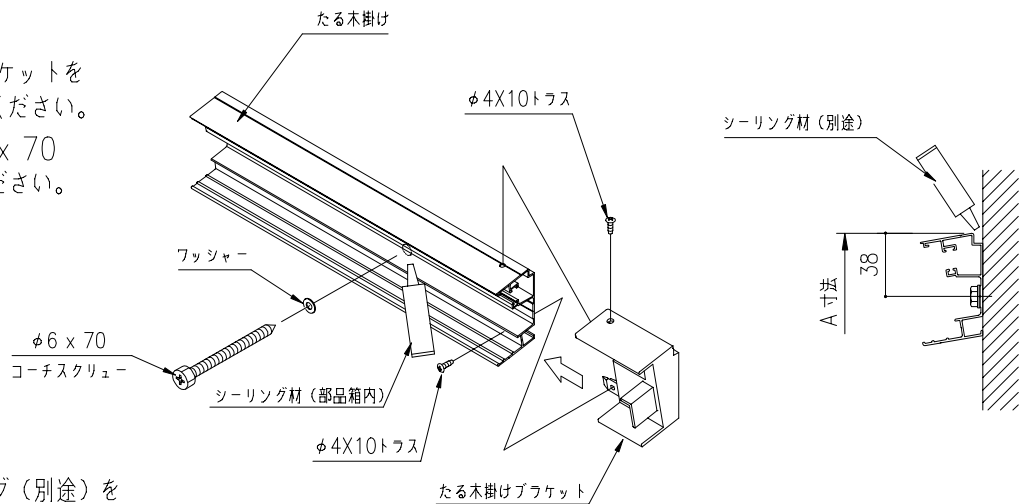
補強桁



組立手順（前面台形）

① たる木掛けの組立

- ◎ たる木掛けに、たる木掛けブラケットをφ4 x 10 トラスで固定してください。
- ◎ たる木掛けの高さを決めてφ6 x 70 コーチスクリューで固定してください。



- ◎ たる木掛けの上面に、シーリング（別途）をしてください。

⚠ 注意

- ◎ コーチスクリューの下孔はφ4.5 深さ 50 mm 以下にしてください。
- ◎ コーチスクリューの下孔にはコーキング材（部品箱内）を充てんしてください。

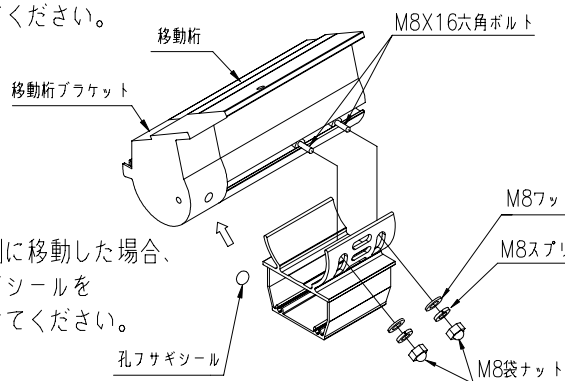
組立手順（前面台形）

② 移動桁と柱の組立

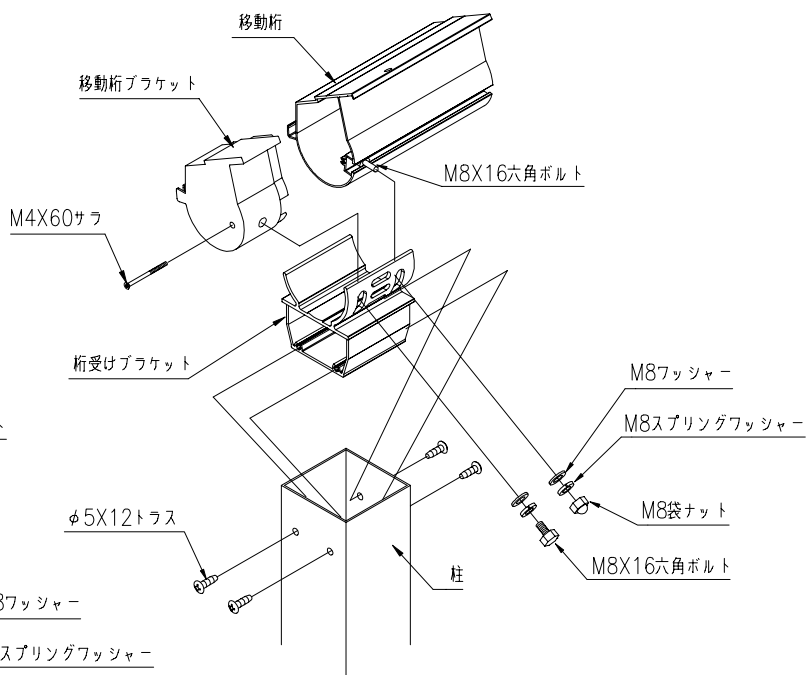
◎ 柱に桁受けブラケットを差し込んで
φ5 × 12 トラスで固定してください。

◎ M8X16六角ボルトを移動桁の溝に入れ、
移動桁に移動桁ブラケットを差し込んで
皿タップピンM4 X 60 で
固定してください。

◎ 移動桁と桁受けブラケットを
M8X16六角ボルト・袋ナットで固定し、
移動桁ブラケットをM8X16六角ボルトで
固定してください。



◎ 柱を内側に移動した場合、
孔フサギシールを
貼りつけてください。



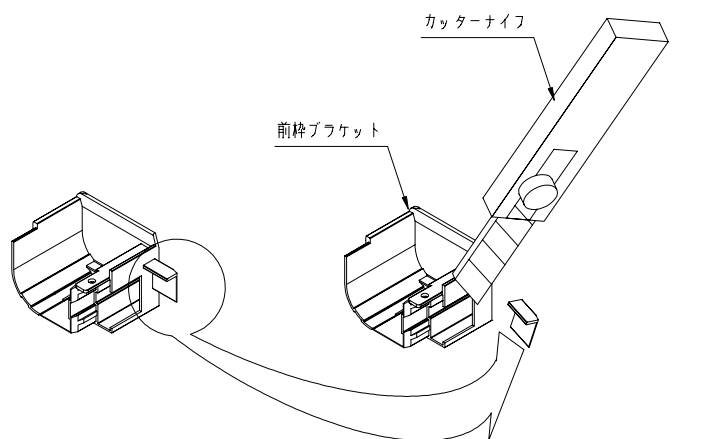
③ 前枠と側枠・たる木の組立

◎ 両端部 前枠ブラケットのフィン（側枠に入る部分）を
あらかじめ切り落として下さい。

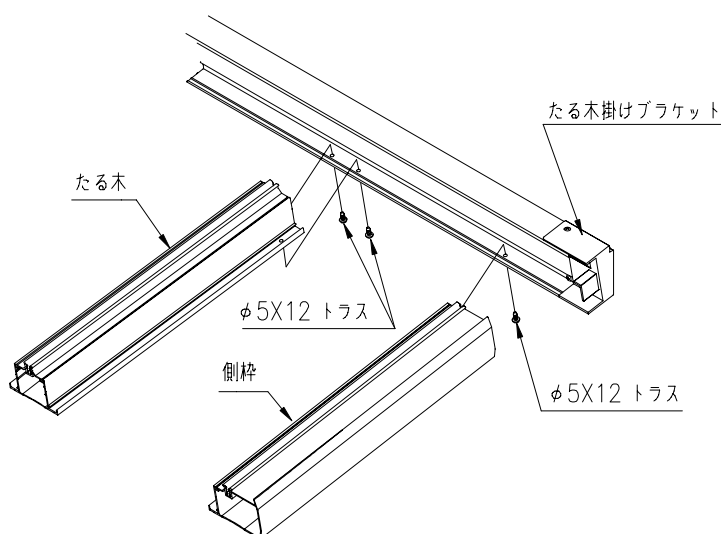
⚠ 注意

◎ カッターの刃をライター等で温めてから切り落とすと、
比較的 簡単に加工出来ます。

◎ 刃物・火の取扱いには、充分ご注意下さい。



◎ 側枠・たる木掛けをφ5X12トラスで
固定してください。



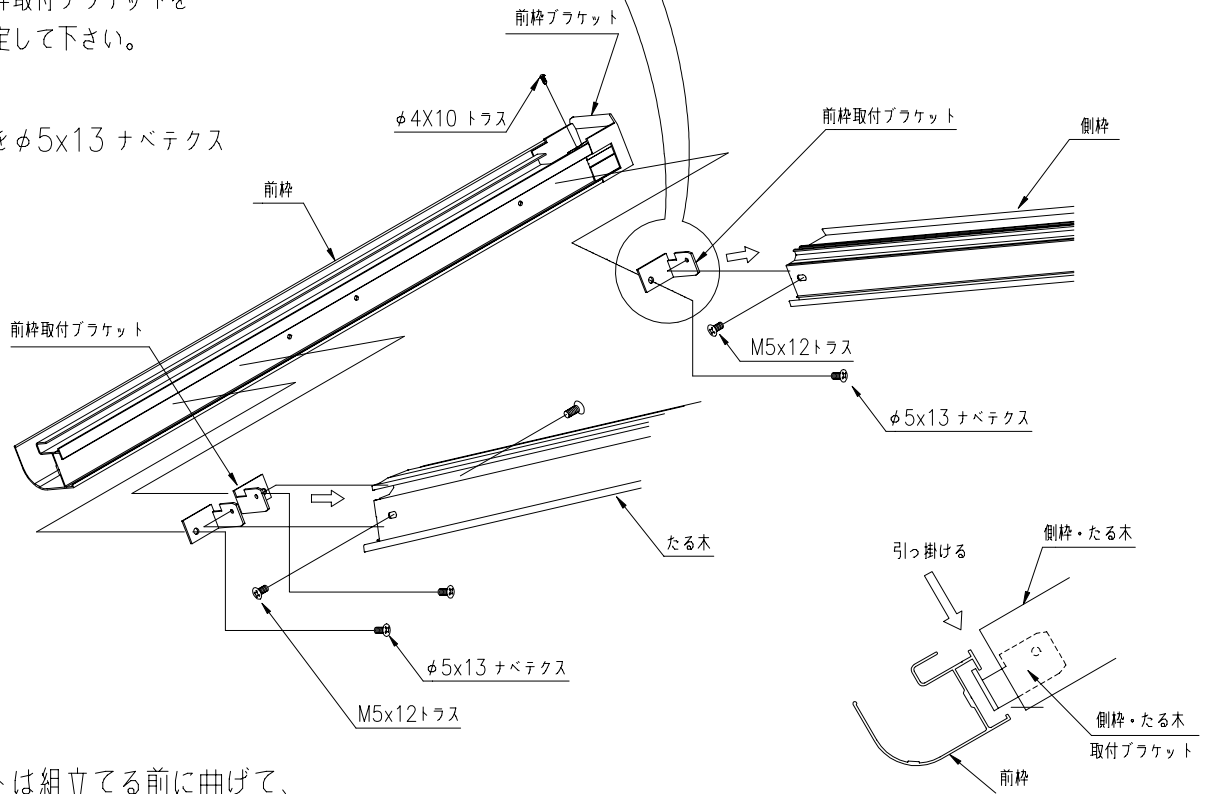
組立手順（前面台形）

◎ 前枠取付ブラケットを、巻末の分度器図をご参考に、調整角度に合わせて曲げて下さい。

◎ 前枠ブラケットと前枠を
φ4x10 トラスで固定して下さい。

◎ たる木・側枠に、前枠取付ブラケットを
φ5x12トラスで固定して下さい。

◎ 前枠とたる木・側枠をφ5x13 ナベテクス
で固定して下さい。



注意

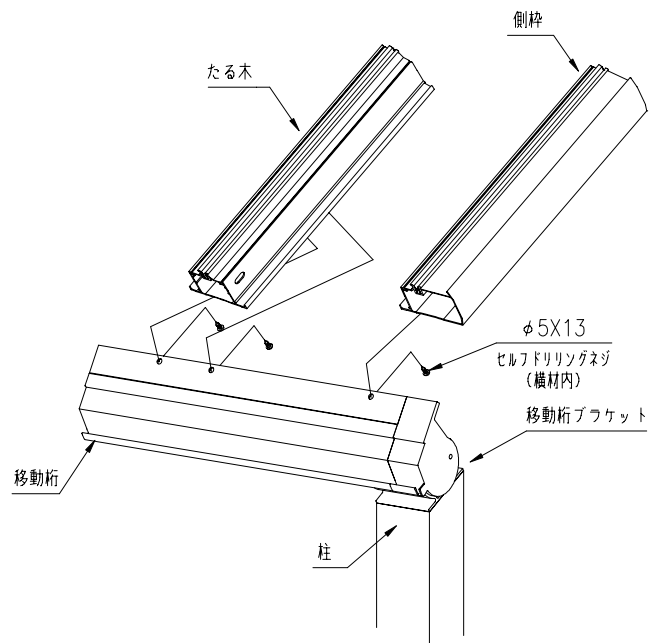
- ・ 前枠取付ブラケットは組立てる前に曲げて、側枠・たる木に取付けておいてください。
- ・ たる木・側枠の平行を保ちながら、前枠取付ブラケットを固定して下さい。
- ・ たる木掛けと、たる木・側枠の角度が90°で有る事をご確認下さい。

※ 前枠を前枠ブラケットに引っ掛けて保持して頂くと作業がしやすくなります。

◎ たる木・側枠と、移動桁をφ5x13セルフドリリングネジで固定して下さい。

注意

前桁、及び側枠の組立に使用しない孔加工は、孔ふさぎシールでふさいで下さい。



※ この後、ファインテラス 組立施工マニュアルをご参照の上、施工して下さい。

M e m o

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

■ 分度器

